

機械による労働災害ゼロを目指しましょう

掃除・調整・修理・点検作業等での機械災害が増えています

諫早労働基準監督署管内の労働災害事例

機械の故障対応中の災害

発生日時 令和2年11月
業種 採石業
被災者 62歳の作業員
被災程度 右腕擦過傷
休業見込 3ヵ月



発生状況 コンベアの始動点検中、ローラーに材料が詰まり異音がしていたため、材料を取り除くとき、ベルトとローラーとの間に右腕を挟んだ。すぐに自分で非常停止を作動させ、コンベアを停止させた。
発生原因 コンベアを停止させずに、異物の除去を行ったこと。

機械を清掃していたときの災害

発生日時 令和2年11月
業種 食品製造業
被災者 54歳の作業員
被災程度 右手中指爪剥離
休業見込 3週間



発生状況 工場内にて、コンベアの清掃作業中、タオルでローラー付近を拭き取っていたとき、ローラーにタオルが巻き込まれ、とっさにタオルをつかんだところ、右手中指もローラーに巻き込まれた。
発生原因 コンベアを停止させずに、清掃作業を行ったこと。

詰まった物を除去するときの災害

発生日時 令和2年2月
業種 食料品製造業
被災者 74歳の作業員
被災程度 左手母指切断
休業見込 1ヵ月



発生状況 工場内にて、コンベアの駆動チェーン部分に詰まった材料を左手で取り除いていたとき、駆動輪とチェーンとの間に左手母指が巻き込まれた。
発生原因 駆動チェーン部分に安全カバーが設けられていなかったこと。
コンベアを停止させずに、異物の除去を行ったこと。

安全装置を切って作業していたときの災害

発生日時 令和2年6月
業種 食料品製造業
被災者 19歳の作業員
被災程度 左手薬指開放骨折
休業見込 2ヵ月

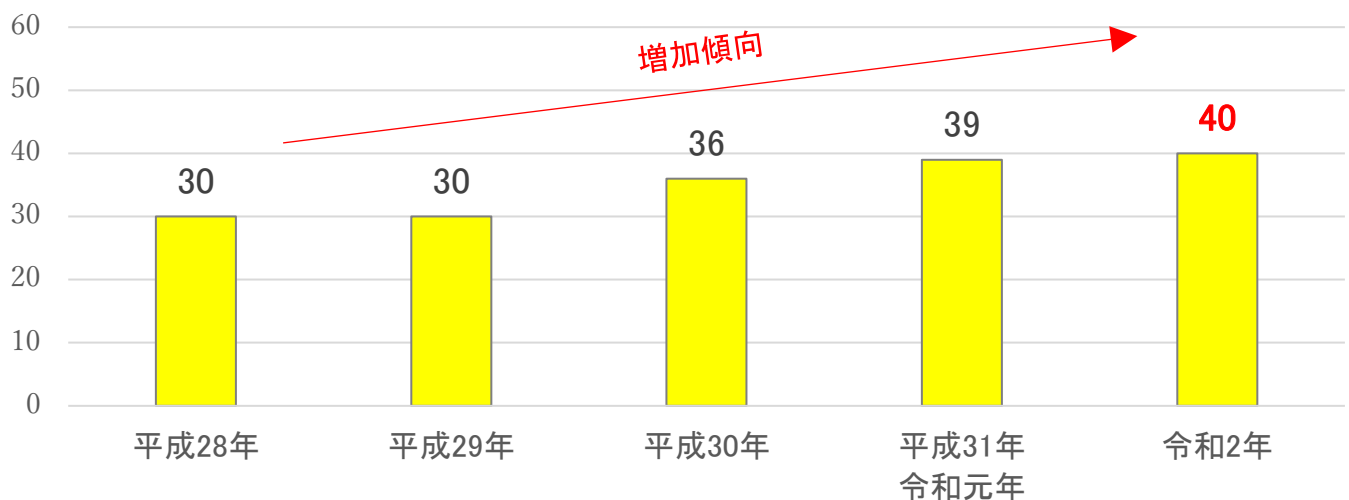


発生状況 工場内にて、自動缶開機のインターロックを解除し、シリンダーの調整を行っていたとき、インターロックの解除が外れ、機械が動き出したため、シリンダーの左手薬指を挟まれた。
発生原因 作業手順書を徹底していなかったこと。
機械を停止せずに、シリンダーの調整を行ったこと。



(人)

諫早労働基準監督署の「はさまれ・巻き込まれ災害」の推移



※ 労働者死傷病報告による。令和2年は令和2年12月15日現在の人数。

機械による「はさまれ・巻き込まれ災害」をゼロにするための具体的な対策

「はさまれ・巻き込まれ災害」は、「転倒災害」「墜落・転落災害」「動作の反動」に次いで4番目に多く発生しており、製造業や建設業だけではなく、**すべての業種**で発生しています。

また、機械の「はさまれ・巻き込まれ災害」が一旦発生すると、手指の打撲・捻挫にとどまらず、骨折・切断に至り、後遺症が残る場合や死亡に至る場合がありますので、以下の事項を参考に、必要な労働災害防止対策に取り組んでいただきますようお願いします。

- ☑ 機械の故障や不具合が発生した場合は、作業員で判断せず、「安全衛生責任者」に連絡して対応を検討して下さい。
- ☑ 点検、整備、調整等を行うときは、確実に機械の電源を切って下さい。また、他の作業員が誤って電源を入れることがないよう、周囲に分かるように表示をして下さい。
- ☑ 作業員の見やすい箇所(機械のカバー部分等)に、「清掃中は機械の電源を切ること」等の安全表示を行って下さい。
- ☑ 点検、整備、調整等を行う前には、必ず作業手順を確認して下さい。
- ☑ 作業を開始する前に、危険予知ミーティングを行い、作業員同士で、作業の中にひそんでいる危険を共有して下さい。
- ☑ 機械に詰まった材料を取り除く場合は、掻き出し棒やマジックハンド等を使用させて下さい。
- ☑ 機械には、非常停止装置が設置されているか確認して下さい。また、その非常停止装置の作動状況を定期的に確認して下さい。
- ☑ 機械の可動部分について、安全カバーの設置状況を職場巡視で日頃から確認して下さい。また、その機械の安全カバーを取り外したとき、自動的に機械が停止する(インターロック)機構となっているか確認して下さい。

